

～JRC部のボランティア活動～

令和4年5月22日、笠松運動公園で行われた「茨城県障害者スポーツ大会」に、選手の招集や誘導のボランティアとして参加しました。



この大会に参加して・・・

「選手によって、障がいのタイプは本当に様々であることが分かった。」

「誘導のとき、思ったよりも速くついてきてくれて、気を遣いすぎなくても大丈夫なんだと思った。」

「競技を見て、障がいを持つ人でも、私たちと同じように、また、私たちより優れている人もいることが分かった。」

そこで、障がいを持った方々と共に活動していくために、必要なことを学びたいと考え、令和4年10月から令和5年1月にかけて、ひたちなか市社会福祉協議会主催の「障害者理解促進事業 出前講座」の4つの講座を受講しました。

これらの講座を通して、目の不自由な方、耳の不自由な方、車椅子が必要な方と接する時に、私たちはどんなサポートをしたらよいか、ということがよく分かりました。

来年度の障害者スポーツ大会等でのお手伝いの機会に、この講座で学んだことをしっかりと実践していきたいと思えます。

☆令和4年10月27日実施 「盲導犬講座」



〈分かったこと、学んだこと〉

- ・盲導犬になるのには、厳しい条件をクリアしないといけないことが分かった。
- ・模擬歩行では、段差があったら転びそうで怖かった。
- ・盲導犬は声をかけただけで動き出して誘導してくれたので感動した。



☆令和4年11月4日実施 「手話講座」



〈分かったこと、学んだこと〉

- ・生まれつき耳が聞こえないということが生活する上でどんなに不便なことであるかが分かった。
- ・手話の種類はとて多く、覚えるのは大変だと思った。
- ・表情が大切な今はマスク生活だから、助けられることがあったら助けたいと思った。



☆令和5年1月24日実施 「車椅子講座」



〈分かったこと、学んだこと〉

- ・人を乗せて坂を降りる時、逆向きで降りるとよいことが分かった。
- ・手動の車椅子を押してあげるためには思ったより労力が必要だった。
- ・電動の車椅子は筋力が弱い人にとってとても便利なものであることが分かった。



☆令和5年1月31日実施 「要約筆記講座」



〈分かったこと、学んだこと〉

- ・難聴の人は聞きとりづらくて支障が出るだけでなく、疎外感や勘違いから辛い思いをすることが分かった。
- ・聞きとりながら内容を覚えて要約して書くのは難しかった。
- ・要約筆記の略語を初めて知って、便利だと思った。



